

公益社団法人 東京生薬協会

令和元年度

(2019年4月1日～2020年3月31日)

事業報告書

令和2年6月18日

# I 令和元年度 事業報告

## ■ 1号事業 生薬、薬用植物等の普及啓発に関わる活動（その1）

生薬、薬用植物に関する知識や情報の啓発により、国民の健康増進に寄与する事業を実施した。

### 1) 薬草観察会 (学術委員会)

#### ① 春の薬草観察会

- ・開催日：令和元年4月21日（日）10:00～15:00
- ・場 所：青梅丘陵
- ・講 師：和田 浩志、磯田 進、南雲清二、鈴木幸子、福田達男(敬称略)
- ・参加者：66名
- ・参加費：無料（保険料100円）

#### ② 秋の薬草観察会

- ・開催日：令和元年10月6日（日）10:00～15:00
- ・場 所：林試の森公園
- ・講 師：和田 浩志、磯田 進、南雲清二、鈴木幸子、福田達男(敬称略)
- ・参加者：64名
- ・参加費：無料（保険料100円）

### 2) 薬草収穫感謝の会 (総務委員会)

- ・共 催：東京都、(公社)東京生薬協会、(公社)東京薬事協会、(公社)東京都薬剤師会、本町生薬会
- ・開催日：令和元年11月9日（土）10:00～15:00
- ・場 所：東京都薬用植物園
- ・講 師：原 三貴 先生（イスクラ産業株式会社 信頼性保証室長）
- ・演 題：はじめよう、薬膳生活
- ・参加者：122名受講
- ・植物園見学参加者：100名
- ・入園者：1,644名（対前年比136%）
- ・記念品配布者数：300名（花の苗300鉢、お土産袋300袋）

### 3) 第35回 生薬に関する懇談会の開催 (学術委員会)

市場に流通する主要生薬について、基原植物、栽培、流通、品質、薬理、臨床などの多面的な視点から研究報告や意見交換を行う場として、産学協同で開催した。

- ・共 催：日本生薬学会関東支部、公益社団法人東京生薬協会
- ・開催日：令和元年12月1日（日）12:55～18:15
- ・会 場：北里大学薬学部
- ・テーマ：黄柏（オウバク）
- ・参加人数：337名（対前年比116%）
- ・参加費：3,000円、懇親会費：2,000円

#### 4) 薬用植物・生薬に関する講座

(学術委員会)

会員及び国民を対象に、薬用植物や生薬に対する基本的知識を提供することにより、薬用植物・生薬、薬用植物園などに幅広く興味をもってもらえるよう、開催した。

- ・テーマ：生薬・漢方からのセルフメディケーション
- ・開催日：令和元年8月～令和元年12月の日曜日（5回シリーズ）
- ・参加費：1回2,500円 ・参加者合計387名(対前年比111%)

開催日	12:30～14:00	14:15～15:45	参加者数
【第1回】 8月18日(日)	<b>セルフメディケーションと生薬製剤</b> 日本大学 名誉教授 安川 憲 先生	<b>身近な腰痛</b> いざわ漢法クリニック 院長 伊澤 和光 先生	68
【第2回】 9月29日(日)	<b>幸田露伴の著作に学ぶ養生</b> 北里大学薬学部生薬学教室 教授 小林 義典先生	<b>不定愁訴と漢方</b> 東海大学医学部 教授 新井 信先生	74
【第3回】 10月27日(日)	<b>医薬品開発のもとになった薬用植物</b> 星薬科大学 名誉教授 南雲 清二先生	<b>気分面に働く漢方</b> 青山杵渕クリニック 院長 杵渕 彰 先生	67
【第4回】 11月24日(日)	<b>漢方処方に使われる薬用植物についてⅣ</b> 東京理科大学薬学部 准教授 和田 浩志先生	<b>女性の漢方</b> ヨシコクリニック 院長 高木 嘉子先生	84
【第5回】 12月15日(日)	<b>生薬のチカラは漢方のチカラⅡ</b> ～心に効く漢方～ 昭和大学薬学部 教授 川添 和義先生	<b>日常に良く見られる病気の漢方</b> 医療法人社団 金匱会診療所 所長 山田 享弘 先生	94

#### 5) 第12回 OTC医薬品とセルフメディケーションの啓発活動

(事務局)

- ・主催：(公社)東京生薬協会、(公社)東京薬事協会、(公社)東京都薬剤師会、  
日本OTC医薬品協会、日本家庭薬協会  
(公社)東京都医薬品登録販売者協会
- ・後援：厚生労働省、東京都、東京商工会議所、日本薬科大学
- ・開催日：令和元年10月4日(金)～5日(土)
- ・会場：(第1会場)福徳の森、(第2会場)江戸桜道り地下歩道
- ・出展社：33社
- ・内容：出展企業ブースコーナー/模擬薬店コーナー/e健康ショップコーナー/  
セルフメディケーションデータベースセンター/お薬相談コーナー/企業プレゼン・アンケートコーナー/出展企業CM上映/スタンプラリー/懐かしいくすり展/健康チェックコーナー/調剤体験コーナー
- ・入場者：約10,000人(推定)

## 6) 会報の発行 (7月、1月)

(広報委員会)

- ・生薬や薬用植物に関する最新情報や薬用植物園に関する情報を提供し、また協会の活動状況をお知らせするために年2回発行し、会員及び大学、関係団体等へ配布した。
- ・発行部数：450部

## 7) 協会ホームページの更新

(広報委員会)

- ・ホームページでの「お花の見頃情報」や「最新イベント情報」「薬用植物国内栽培事業」などを随時更新した。
- ・協会に関する基本情報についても更新した。
- ・2019年10月～12月にかけて断続的にサーバー障害に見舞われ、アクセス不能の期間が生じた。
- ・下期の前年伸び率が110%未満となったのはサーバー障害に一因があると思われる。
- ・障害再発防止策として、新サーバー「<https://www.tokyo-shoyaku.com>」は開設済。
- ・「新常用和漢薬集」は7生薬を新規掲載し、143生薬を公開した。  
また、局方・局方外（公定書）との整合作業をし、11生薬を公開した。

### ・ホームページへのアクセス状況

期 間	訪問数	ユーザ数	ページビュー数
2018/04/01～2018/09/30	120,143	80,344	269,370
2018/10/01～2019/03/31	169,214	121,107	339,706
2018（平成30年）年度合計	289,357	201,451	609,076
2019/04/01～2019/09/30	180,924	122,125	391,281
2019/10/01～2020/03/31	181,971	133,489	367,866
2019（令和元年）年度合計	362,895	255,614	759,147
下期 前年同期比	107.5%	110.2%	108.3%
年間 対前年比	125.4%	126.9%	124.6%

### ・令和元年度 下半期 アクセスの多かったコンテンツ

コンテンツ	ページビュー数
新常用和漢薬集 TOP	29,150
新常用和漢薬集 処方一覧	13,768
新常用和漢薬集「マオウ」	9,149
TOP ページ	8,104
新常用和漢薬集「ブクリョウ」	8,074
新常用和漢薬集「カンゾウ」	7,151
お花の見頃情報 TOP	7,080
新常用和漢薬集「トウキ」	6,045
新常用和漢薬集「タイソウ」	5,471

## 8) ふれあいガーデン事業（参加者合計：518名）（対前年比 125%）（事業管理委員会）

東京都薬用植物園ふれあいガーデンの実施

- 令和元年度は、薬用植物園のサービス向上を目的として、「東京都薬用植物園ふれあいガーデン共同事業体」（公社）東京生薬協会、（公社）東京薬事協会、北部緑地（株）の3者共同事業体にて、園内 400 m<sup>2</sup>を対象に薬用植物に関連した事業（下記のイベント等）を実施した。

	開催日	テーマ	講師(敬称略)	参加者数
4月	6日(土)	世界の伝統薬	山内 盛	57
	13日(土)	春のハーブ	小泉 美智子	27
	20日(土)	ハーブの故郷を訪ねて	池村 国弘	58
5月	25日(土)	リース初夏の装い	田淵 清美	30
6月	1日(土)	園芸三昧	出澤 清明	66
	15日(土)	香りを楽しむ	鈴木 悦子	23
7月	6日(土)	サマーハーブ	小泉 美智子	30
10月	5日(土)	草木で染める	山 浩美	30
	19日(土)	秋から冬のアレンジ	田淵 清美	29
11月	2日(土)	落語に見る食の風景 その4	一升亭吞介	65
	16日(土)	食養講座「旬とだし」	山上 勉	40
	23日(土)	野草の春夏秋冬	山下 智道	63

## 9) 新常用和漢薬集の改訂（学術委員会）

ホームページ上の新常用和漢薬集に掲載されている生薬を日本薬局方（17局）と照合する改訂作業を実施した。

7品目追加し、公開品目数は、143生薬となった。

## ■ 1号事業 生薬、薬用植物等の普及啓発に関わる活動（その2）

### 【東京都薬用植物園受託事業】（事業管理委員会）

東京都薬用植物園の管理事業の全面委託に伴い、今までの実績を生かして薬用植物や生薬に対する知識・情報を国民に対し正しく普及し啓発する活動を積極的に実施した。

#### 1) 東京都薬用植物園の事業管理

(1) 東京都薬用植物園の総合案内を行った。

窓口対応：開園時間帯における来園者対応：874件

電話対応：開園時間帯における電話等照会対応：1,156件

園内管理：土、日、祝日対応：119日

年間来園者数：118,481人（対前年比 95.72%）

(2) 栽培補助業務（標本栽培区、温室、育苗その他）：延べ 1,759人/年

(3) 調査研究、鑑定、鑑別補助作業（ケシ、アサ、サボテン類、違法ドラッグ、トウゴマ等農作業補助、データ整理、文献調査、計測等の補助業務）：  
延べ420人/年

(4) 普及啓発事業（詳細は各項）：33日間実施、参加者数：2,322名  
協会の応援人数延べ：47人

(5) 印刷物等作成

植物園案内パンフレット	15,000部
写真で見る絶滅危惧種植物	5,000部
「四季の薬草」パンフレット	5,000部
ケシ鑑別マニュアル	500部
種子交換リスト	0部
講習会等の参加者用資料、掲示用ポスター類	2,364部
野外展示用ラベル及び立て札	115枚
ケシ講座他	0部
アサ（大麻草）鑑別マニュアル	500部

(6) 東京都薬用植物園建物・施設の管理

保守点検：冷暖房、防火設備、ボイラー、電気設備、給水タンク、温室等

栽培管理：沿道植栽樹木、病虫害駆除、通路の草刈等

清掃：薬事資料館、研修室、標本室、トイレ、廃棄物の処理等

警備：薬事資料館、研修室、収納舎、ケシ・アサ栽培区等

## 2) 普及啓発・研修業務

(1) 薬草教室の開催（会場：東京都薬用植物園）

薬草教室を年間8回実施した。合計参加者：798名（対前年比88.4%）

来園者数：3,488名（対前年比71.7%）

	開催日	講演内容	講師(敬称略) (所属)	参加者数	来園者数
1回	4月24日(水)	ヒマラヤの人々と植物	御影雅幸(東京農業大学 教授)	151	614
2回	5月20日(月)	胃腸虚弱は万病のもと	新井信(東海大学医学部 教授)	129	504
3回	6月5日(水)	光技術を用いた美味しい野菜や薬草の生産	渡邊博之(玉川大学 教授)	79	552
4回	7月26日(金)	薬草花写真の撮り方	加藤久幸(松浦薬業(株)技術広報グループ)	71	260
5回	8月9日(金)	氷河時代と日本の高山植物	門田裕一(国立科学博物館名誉研究員)	87	273
6回	9月11日(水)	植物観察学再入門	和田浩志(東京理科大学薬学部 准教授)	93	399
7回	10月9日(水)	おすすめの健康入浴法	石澤太市(㈱Vスリツ つくば研究所)	73	435
8回	11月14日(木)	冷えは万病の元 漢方が効く	大野修嗣(大野クリニック院長)	115	451

## (2) 薬草観察会の開催

### ① 春の薬草観察会

令和元年 4月21日(日) 青梅丘陵 66名

### ② 秋の植物観察会

令和元年 10月 6日(日) 林試の森公園 64名

## (3) 薬草の普及啓発講座（合計参加者：885名 対前年比 106%）

令和元年度は以下のような薬用植物に関する普及啓発講座を実施した。

	開催日	テーマ	講師(敬称略)	協会	草屋舎	参加人数
4月	6日(土)	世界の伝統薬	山内 盛		○	57
	13日(土)	春のハーブ	小泉 美智子		○	27
	20日(土)	ハーブの故郷を訪ねて	池村 国弘		○	58
5月	2日(木)~18日(土)	ケシのパネル展	展示	○		—
	5日(日)・6日(月)	ケシのミニ講座	薬用植物園職員	○		200
	25日(土)	リース初夏の装い	田淵 清美		○	30
6月	1日(土)	園芸三昧	出澤 清明		○	66
	15日(土)	香りを楽しむ	鈴木 悦子		○	23
7月	6日(土)	サマーハーブ	小泉美智子		○	30
	24日(水)	夏休み親子植物教室	中山麗子	○		22
8月	25日(日)	薬草クイズラリー	東京生薬協会	○		105
10月	5日(土)	草木で染める	山 浩美		○	30
	19日(土)	秋から冬のアレンジ	田淵 清美		○	29
11月	2日(土)	落語に見る食の風景 その4	一升亭 吞介		○	65
	16日(土)	食養講座「旬とだし」	山上 勉	○		40
	23日(土)	野草の春夏秋冬	山下 智道	○		63
12月	10日(火)	木の実・草の実リース作り教室	中山 麗子		○	40
3月	6日(金)	健康講座	東京薬事協会と共催		○	中止

## (4) 研修業務の実施

東京都が主催する薬事監視員、警察、薬学生、医学生対象の研修会を補助した。

対 象	開催回数	対象者数
① ケシ特別講座	12回	741名
② 薬務、保健所等研修	11回	123名
③ 警察、薬防協等研修	26回	449名
④ 学生研修	3回	173名
⑤ 日本薬剤師研修センター漢方認定研修	2回	60名
⑥ 一般(団体)指導	2回	21名

### 3) 薬用植物の栽培

- ① 薬事監視業務の一環とし、ケシ、大麻の栽培補助、農作業補助を行った。
- ② ケシ、大麻以外の薬用植物の栽培管理、農作業全般を行った。  
場 所：東京都薬用植物園  
期 間：通年

### 4) 薬用植物の収集、保存及び展示

東京都職員の指示により行った。

- ① 種子交換 : 種子調整・整理、交換リスト作成、種子の受付発送を行った。
- ② さく葉作成：種の同定、さく葉の作成、リスト作成、保管整理を行った。
- ③ 生薬標本の作成：種の同定、標本作成、リスト作成、保管整理を行った。
- ④ 資料館に薬用植物の標本類の展示及びラベルの整備を行った。

### 5) 鑑定、鑑別補助

東京都職員が行う植物鑑定、鑑別試験のために必要な、文献調査、資料の提供及び鑑別用標本の購入保管を行った。

## ■ 2号事業 生薬、薬用植物等の栽培、育成等に関わる活動

### 1) 薬用植物栽培説明会の開催

(薬用植物国内栽培事業委員会)

- ① 開催日：令和元年5月28日(火)  
場 所：新潟市  
内 容：『薬用植物国内栽培の現状』  
講 師：小谷 宗司(信州大学特任教授)  
参加者：25名

## ■ 3号事業 生薬資源等の基原・品質・薬理等の調査研究に関わる活動

### 1) 日本薬局方原案検討委員会に係る活動

(学術委員会)

- ① 生薬等(A)委員会：6、8、2月に開催、小栗氏・神本氏(ツムラ)が参加。  
生薬等(B)委員会：5、7、9、12月に開催、武田氏(ツムラ)が参加。  
各委員会の議事メモが学術委員会に報告され、試験法案の追試等の対応がなされた。
- ② 第十七改正日本薬局方第二追補、(予定：平成31年4月1日)  
規格案の検討は予定通り終了したが、通知は6月28日に発出された。



③ 第十八改正日本薬局方、(予定：2021年4月1日)

「PMDAのHPに下記の改正に係わる意見募集が発出された。改正案については確認試験(TLC法)等について、加盟会社で追試し、結果・意見を生薬等委員会に提示した。主な意見公募は下記のとおり。

[試薬・試液]

- ・ 定量用1の改正(削除)と用語訂正：「内部基準物質」を「qNMR用基準物質」へ。  
(E)-ケイ皮酸、ゲニポシド、サイコサポニンb2、ペオノール、マグノロール、ロスマリン酸
- ・ 定量法の用語訂正：「内部基準物質」を「qNMR用基準物質」へ。  
エボジアミン、[6]-ギングロール、シノメニン、[6]-ショーガオール、10-ヒドロキシ-2-(E)-デセン酸、(E)-フェルラ酸、ロガニン
- ・ サイコサポニンa、d混合標準試液：定量用規格

[各条]

- ・ ケイヒ、ケイヒ油、センソ、コウボク、ハマボウフウ、ボウイ【学名】
- ・ センコツ、カロコン、テンモンドウ、ベラドンナコン【基原】
- ・ サンシシ、サンシシ末、ボタンピ、ボタンピ末【含量規格】
- ・ ゴシュユ、サンショウ、カンゾウ、サイコ【生薬の性状】
- ・ サイコ【定量法】
- ・ ヤクチ(追試中)、センコツ【確認試験】
- ・ センコツ、マオウ【純度試験(異物)】

[参考情報]

- ・ 生薬の放射能測定法：新規収載

④ 第十八改正日本薬局方第一追補、(予定：2022年10月1日)

改正案の主な意見公募は下記のとおり

[各条]

- ・ チョウジ、チョウジ油、コウボク、ハマボウフウ、ボウイ【学名】
- ・ サンシシ【基原】
- ・ ゴシツ【確認試験】

⑤ 日本薬局方外生薬規格2018一部改正、令和元年9月3日

武田・神本氏(ツムラ)が参加：メール審議

[各条]

- ・ ゴオウ末【規格の改正(日局ゴオウの定量法を準用、成分含量の項を削除)】
- ・ ケイシ、セキショウコン、センタイ、メリロートエキス、ロクジョウ【規格訂正】

⑥ 日本薬局方外生薬規格 2021WG

協会からの改正要望を集計し、集計結果を国立医薬品食品衛生研究所(以下、衛研)の丸山室長宛てに提出した。令和2年3月30日、衛研において第1回WGが開催。

厚労省医薬品審査管理主催の改正案に係る「検討会」には協会から松浦・神本氏(ツムラ)が参加予定(予定:2020年7月)。

⑦ 漢方処方原案作成WG

柴胡桂枝乾姜湯エキス(全6社)、抑肝散加陳皮半夏エキス(全5社)の規格及び試験方法の検討結果をWGで報告。

当協会として、JP17以降の収載候補品目の全てについて審議に参加

嶋田氏(常磐植物化学研究所)、神本氏(ツムラ)が参加:4回(4、8、11、2月)

⑧ その他

第4回東アジア三国薬局方(生薬等)検討会

4th Conference for Trilateral Communication between East Asian Pharmacopoeia Committees on Natural Medicines (TEAPN)

日 時:令和元年11月11日

場 所:国立医薬品食品衛生研究所 2階共用会議室

今年度から韓国が参加し、検討会名称も変更となった。

協会からは武田・神本・小栗氏(ツムラ)が参加し、また検討会の準備、運営にも当たった。

2) 新潟市、基盤研、公益社団法人東京生薬協会栽培連携協定締結式 (事務局)

- ・開催日:令和元年5月28日(火)
- ・場 所:ANAクラウンズプラザホテル新潟
- ・講演会:5年間の取組状況説明(農活研センター、中村所長補佐)  
記念講演(東京生薬協会、小谷栽培委員長)
- ・参加者:東京生薬協会(藤井会長、末次専務理事、小谷栽培委員長、  
加賀事業管理委員長、田中事務局長)  
医薬基盤研究所(阿部理事(健康栄養研究所長)、飯田先生)  
新潟市(中原市長、部長、所長ほか)  
3大学、4JA、土地改良区  
薬用植物研究会員

3) 生薬栽培地視察と情報収集活動の実施 (事務局)

美郷町と八峰町にて薬用動植物栽培地の視察と記念植樹を実施した。

- ・開催日:令和元年6月7日(金)~9日(日)
- ・見学地:記念植樹(ホオノキ植樹)、薬用植物栽培地見学
- ・交流会:薬用植物等の栽培地等の意見交換
- ・参加者:15人

#### 4) 薬用動植物国内栽培の実施

(薬用植物国内栽培事業委員会)

- ① 秋田県八峰町薬用植物試験栽培  
試作品目：ウイキョウ、カミツレ、キキョウ、シャクヤク、セネガ、トウキ
- ② 秋田県美郷町薬用植物試験栽培  
試作品目：カンゾウ、キキョウ、ノイバラ、ボウフウ、ホオノキ、センブリ  
津蟹（チュウゴクモクスガニ）
- ③ 新潟県新発田市薬用植物試験栽培  
試作品目：ヤマトトウキ、ハッカ、シャクヤク、カンゾウ、オケラ、クロモジ
- ④ 新潟県新潟市薬用植物試験栽培  
試作品目：ミシマサイコ、ヤマトトウキ、ハトムギ、エビスグサ、カラスビシャク、ハッカ、シャクヤク、オケラ、カンゾウ、オタネニンジン、シソ、カワラヨモギ、アミガサユリ、ジオウ、ジャノヒゲ、キキョウ、オウレン、ハマボウフウ、コガネバナ、ヨロイグサ、ゴミシ
- ⑤ 福井県高浜町薬用植物試験栽培  
試作品目：ミシマサイコ、ヤマトトウキ、ハトムギ、エビスグサ、シャクヤク、オケラ、ハマボウフウ、アミガサユリ、ジオウ、ジャノヒゲ、キキョウ、ゲンノショウコ、オウレン、ゴシュユ、コウホネ、カノコソウ、センブリ、ムラサキ
- ⑥ 岐阜県岐阜市薬用植物試験栽培  
試作品目：ミシマサイコ、ヤマトトウキ、ハトムギ、シャクヤク、オケラ、カワラヨモギ、アミガサユリ、ジオウ、ジャノヒゲ、キキョウ
- ⑦ 大分県杵築市薬用植物試験栽培  
試作品目：ミシマサイコ、ヤマトトウキ、センキュウ、シャクヤク、カラスビシャク、オケラ、コガネバナ、カワラヨモギ、ジャノヒゲ、カンゾウ、キキョウ、カノコソウ、ケイガイ、ハナスゲ、ベニバナ、サフラン、ムラサキ、キバナオウギ、イカリソウ、ケイリンサイシン、メハジキ

#### 5) 薬用植物栽培連携協定自治体との合同会議

(薬用植物国内栽培事業委員会)

- ① 第3回薬用植物栽培連携協定自治体との合同会議
  - ・開催日：令和元年10月10日(木)～11日(金)
  - ・場 所：・大分県杵築市 山香庁舎 2F 大会議室
    - ・試験圃場（旧大分県立山香農業高等学校）
    - ・杵築市地域活性化センター
  - ・連携協定を締結している全国7自治体の担当者30名と、協会からは会長を始め栽培指導員14名（合計44名）における合同会議を実施した。
  - ・交流会：薬用植物等の栽培地としての可能性等の意見交換
  - ・各自治体からは、収穫・加工機械類の紹介、データを多用した栽培管理、合理的な播種・育苗技術、病虫害対策、栽培組織、国や県の補助金の活用など多様な内容で報告がされ、意見交換がなされた。

- ・2日目はキキョウ根の皮さり(自動皮むき装置)及び栽培圃場の状況を見学した。
- ・参加者：協会側：14人(藤井会長、末次専務理事、栽培指導員)  
自治体側：30人(八峰町、美郷町、新発田市、新潟市、岐阜市、高浜町、杵築市)

## ② キキョウ栽培に関する情報交換会議

- ・開催日：令和2年1月28日(火)
- ・場 所：公益社団法人東京生薬協会 東神田藤井ビル7階
- ・連携協定を締結し、キキョウ栽培をしている全国5自治体の担当者16名、協会から会長を始め栽培指導員16名(合計32名)による会議を実施した。
- ・和田指導員から『キキョウの栽培指針について』の解説があり、各地区のキキョウ栽培状況報告(各自治体・生産者から現状と課題について)、意見交換がなされた。飯田指導員からキキョウ(八峰町、美郷町、岐阜市、杵築市)のサンプル分析について、生・乾燥重量、機械洗浄等の解説がなされた。
- ・参加者：協会側：16人(藤井会長、末次専務理事、栽培指導員)  
自治体側：16人(八峰町、美郷町、岐阜市、高浜町、杵築市)

## ■ 4号事業 生薬、薬用植物等に携わる人材の育成に関わる活動

### 1) 薬用植物指導員認定者のフォローアップ研修 (学術委員会)

既認定指導員を対象に、より実践的に薬用植物に関する説明や案内ができるよう、さらに協会活動により積極的に協力頂くようフォローアップ研修を実施した。

#### ① ケシの見学・研修

東京都薬用植物園ケシ柵内での見学、研修室での座学研修

- ・開催日：令和元年5月9日(木)
- ・参加者：23名

#### ② 薬用植物園研修

城西大学薬学部薬用植物園にて白瀧先生のご案内で薬草園・研究棟を見学

- ・開催日：令和元年10月19日(土)
- ・参加者：15名

## ■ 5号事業 その他、本会の目的達成に必要と認める事業

### ■ 共益事業

主に会員向けに行われる事業で、会員の親睦や情報交換を図る目的で実施した。

#### 1) 賀詞交歓会の実施

(事務局)

- ・開催日：令和2年1月27日(月)
- ・会場：神田明神・文化交流館
- ・出席者：137名(対前年比108%)

#### 2) 薬用植物生け花展・標本展の実施

(事務局)

「薬と健康の週間」(東京都)行事の一環として、主催の薬祖神奉賛会に協力して実施した。

- ・開催日：令和元年10月17日(木)
- ・会場：昭和薬貿ビル2F直会会場
- ・直会会場に薬用植物生け花を出展した。(3社、4人)イワキ(株)、興和(株)、草屋舎
- ・出展：薬用植物説明パネル及び種子標本を展示した。
- ・参加者：2,657名(対前年比93.3%)

#### 3) MCMIA(現代化中医薬国際協会)との交流

(事務局)

- ・令和元年8月に香港で開催された展示会ICMCMで東京都薬用植物園、薬用植物国内栽培事業のポスターを掲示し、先方幹部との情報交換を行った。
- ・訪問先：ICMCM展示会場、衛生局訪問

## II. 総会、理事会、委員会等開催

総会	2回	6月	3月				
理事会	2回	6月	3月				
会計、業務監査	1回	5月					
総務委員会	2回	5月	2月				
総務規程WG	3回	4月	7月	9月			
薬草収穫感謝の会 WG	1回	9月					
学術委員会	6回	4月	6月	8月	10月	12月	2月
広報委員会	4回	5月	8月	11月	2月		
Web WG	1回	2月					
事業管理委員会	4回	4月	8月	11月	2月		
薬用植物国内栽培事業委員会	2回	4月	2月				

## III. 会員数及び入退会

1. 会 員：139名
2. 期首会員数：136名
3. 期末会員数：139名
4. 入会（15件：法人正会員2件、個人正会員6件、サポーター7件）  
法人正会員：(一社)青葉山麓研究所、日野製薬株式会社  
個人正会員：6名  
サポーター：7名
5. 退会（12件：法人正会員1件、賛助会員1件、個人正会員3件、サポーター7件）  
法人正会員：株式会社ウチダ和漢薬  
賛助会員：八雲町役場  
個人正会員：3名  
サポーター：7名

以 上